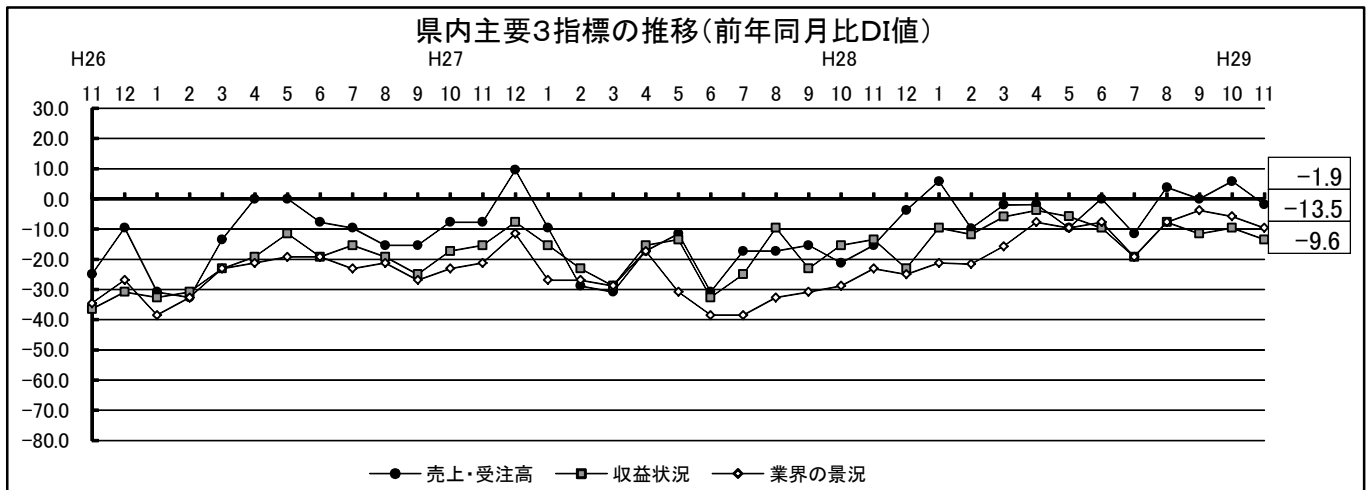


中小企業団体情報連絡員報告結果(平成29年11月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 11月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「設備操業度」「雇用人員」が上昇し、「売上高」「在庫数量」「販売価格」「収益状況」「業界の景況」が下降した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より7.7ポイント下降の-1.9ポイント、「収益状況」が3.9ポイント下降の-13.5ポイント、「業界の景況」が3.8ポイント下降の-9.6ポイントであった。
- 前月比で主要3指標をはじめ多くの数値が下降となり、11月は厳しい結果となった。業種により若干のばらつきがあるが、昨年同時期にマイナス傾向にあった「雇用人員」が安定しており、企業の経営基盤も少しずつ安定を取り戻してきたとも感じられる。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-1.9	-7.7	-2.9	7.9
収益状況	-13.5	-3.9	-14.1	3.7
業界の景況	-9.6	-3.8	-15.0	2.0

売上・受注高

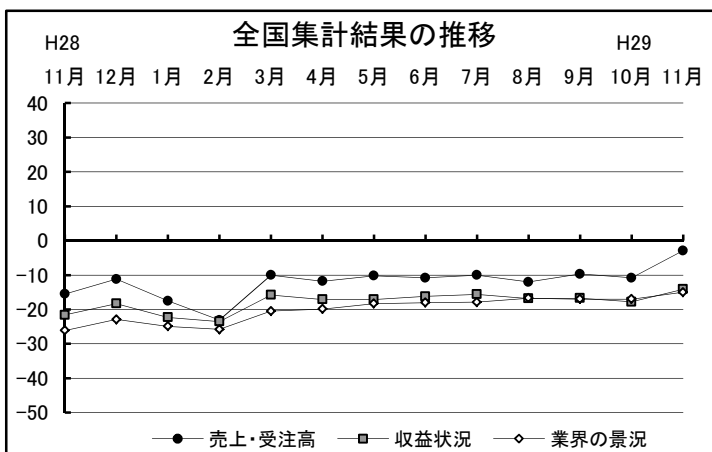
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より7.7ポイント下降の-1.9ポイントとなった。全国においては、前月より7.9ポイント上昇の-2.9ポイントとなった。

収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より3.9ポイント下降の-13.5ポイントとなった。全国においては、前月より3.7ポイント上昇の-14.1ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より3.8ポイント下降の-9.6ポイントとなった。全国においては、前月より2.0ポイント上昇の-15.0ポイントとなった。



-概 況-

11月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「設備」「雇用」が上昇し、「売上」「在庫」「価格」「収益」「景況」が下降した。主要3指標は、「売上高」が前月より7.7ポイント下降の-1.9ポイント、「収益状況」が3.9ポイント下降の-13.5ポイント、「業界の景況」が3.8ポイント下降の-9.6ポイントであった。前月比で主要3指標をはじめ多くの数値が下降となり、11月は厳しい結果の月となった。業種により若干のばらつきがあるものの、昨年同時期にマイナス傾向にあった「雇用人員」が比較的安定しており、企業の経営基盤も少しずつ安定を取り戻してきたとも感じられる。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中1業種が上昇、4業種が低下し、非製造業で6業種中3業種が上昇、3業種が低下した。「収益」は製造業で1業種が上昇し、非製造業で1業種が上昇、3業種が低下した。「景況」は製造業で1業種が上昇、2業種が低下し、非製造業で1業種が上昇、2業種が低下した。

急激な冷え込みや雨模様により大きな影響を受けた前月までと比べ、天候は平年通りとなり、天候起因のプラスマイナス的な影響は見受けられない。前年と比較すると、景況感の回復の動きを示しているが、業態や個別の企業単位によっては軟調なところもあるようだ。各企業、連携組織単位で数か月先のことではなく、数年、数十年先を見越した対策を検討していく必要があるように思われる。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	×	△	△	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	×	△	×	△	△	△	△	△	△
木材・木製品	△	×	△	△	△	△	△	△	×
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	○	△	△
鉄鋼・金属	△	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	△	△	△	△	×	△	—	△	×
サービス業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	○	—	△	△	○	△	—	△	○
その他	○	—	○	△	△	△	—	△	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-50.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	25.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	-50.0	0.0	-50.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
木材・木製品	0.0	-75.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	25.0	-25.0	-50.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	25.0	-25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0
鉄鋼・金属	25.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0
一般機器	0.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造業	-8.0	-24.0	-8.0	0.0	-8.0	-8.0	20.0	-4.0	-8.0
卸売業	0.0	33.3	0.0	0.0	-33.3	0.0		0.0	0.0
小売業	-14.3	-14.3	0.0	-14.3	-42.9	-14.3		0.0	-42.9
サービス業	0.0		0.0	-33.3	-33.3	0.0		33.3	-16.7
建設業	-20.0		0.0	0.0	-20.0	-20.0		0.0	-20.0
運輸業	50.0		0.0	0.0	50.0	0.0		0.0	50.0
その他	50.0		50.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	3.7	0.0	3.7	-11.1	-18.5	-7.4		7.4	-11.1
全体	-1.9	-17.1	-1.9	-5.8	-13.5	-7.7	20.0	1.9	-9.6

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	前月比
売上高	-15.4	-3.8	5.8	-9.8	-2.0	-1.9	-9.6	0.0	-11.5	3.8	0.0	5.8	-1.9	-7.7
在庫数量	-14.3	-22.9	-14.3	-23.5	-23.5	0.0	-8.6	-14.3	2.9	-2.9	-17.1	0.0	-17.1	-17.1
販売価格	1.9	0.0	3.8	3.9	5.9	1.9	5.8	3.8	3.8	1.9	1.9	1.9	-1.9	-3.8
取引条件	-5.8	-3.8	-1.9	-2.0	-3.9	0.0	-1.9	0.0	-1.9	-1.9	-1.9	-5.8	-5.8	0.0
収益状況	-13.5	-23.1	-9.6	-11.8	-5.9	-3.8	-5.8	-9.6	-19.2	-7.7	-11.5	-9.6	-13.5	-3.9
資金繰り	-5.8	-5.8	-3.8	-5.9	-5.9	1.9	0.0	-3.8	-7.7	-5.8	-5.8	-7.7	-7.7	0.0
設備操業度	-4.0	-8.0	-8.0	0.0	12.5	-4.0	8.0	-4.0	-16.0	-12.0	-12.0	8.0	20.0	12.0
雇用人員	-5.8	-3.8	-3.8	-5.9	2.0	-3.8	1.9	-1.9	3.8	5.8	5.8	0.0	1.9	1.9
業界の景況	-23.1	-25.0	-21.2	-21.6	-15.7	-7.7	-9.6	-7.7	-19.2	-7.7	-3.8	-5.8	-9.6	-3.8

図表3～【指標別DI値の推移】

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-50.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	-50.0	-25.0	-25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
木材・木製品	50.0	-50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	-50.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
一般機器	-25.0	-50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
製造業	-20.0	-24.0	-8.0	4.0	4.0	0.0	12.0	8.0	-4.0
卸売業	-33.3	33.3	0.0	0.0	-33.3	0.0		0.0	0.0
小売業	28.6	-14.3	0.0	0.0	0.0	14.3		0.0	-14.3
サービス業	-16.7		0.0	-16.7	-33.3	0.0		0.0	0.0
建設業	-20.0		0.0	0.0	-20.0	-20.0		0.0	-20.0
運輸業	25.0		0.0	0.0	25.0	0.0		0.0	25.0
その他	50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		-50.0	0.0
非製造業	3.7	0.0	0.0	-3.7	-11.1	0.0		-3.7	-3.7
全体	-7.7	-17.1	-3.8	0.0	-3.9	0.0	12.0	1.9	-3.8

特記事項

情報連絡員報告（平成29年11月分）

所属組合	特記事項
酒類製造業	11月の売上高は昨年に比べ微増。これから年末に向け御歳暮、御年賀の需要に期待している。
外衣・シャツ製造業	月々の景況感はいまだ低迷状態である。なかなか地方零細には流れが来ない。町工場には公人にはなかなか感じ得ない夢とロマンがある。戦後日本の町工場は夢とロマンがあり、そのロマンが創造力や技術の革新を作り世界へ羽ばたいていった。倒産しても、赤字続きとなっても我慢し、雌伏し、現在の大企業になった会社は枚挙にいとまがない。苦しさを雌伏してこそ真の企業になると思うが、将来の日本が心配である。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	来春向けの第一弾の納品が始まった。シーズンの滑り出しとしては各社まずまずといった感じのようだ。11月末に組合で都内展示会に出展してきた。例年出店しているものであるが、昨年よりも来場者数が多く、様々な業者から問い合わせをいただくことができた。
一般製材業	11月は例年になく非常に悪い状況になってしまった。加工物件が動かず各組合員の話からも工務店等の動きに良い状況が見られないようで、今後の動向を注視している。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格など厳しい経営環境に変わりはない。製紙各社は、原料価格上昇を理由に印刷用紙の値上げを断行、運送業界は労働力確保を理由に運賃の値上げを相次いで実施。今回の印刷用紙及び運賃の値上がり分のコスト吸収は最早限界を超えるものとなっている。
石灰製造業	石灰は増減はあるものの、平均すると昨年同様である。但し、公共事業（オリンピック関連）の動き次第で、今後は鉄鋼、土質、砕石等の出荷増が見込まれる。オリンピック関連による事業が石灰業界のおおよその予想から大幅に遅れているのが現状である。
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車部品関連…スバルの無資格検査問題については、今のところ下請け企業の問題はないようである。 ・機械設備関連…建設機械関連は大型関係は回復。中小型についても従来に比し穏やかに上向いている。 ・プレス金型関連…自動車部品関連は、普通車、軽自動車とも穏やかに上向いている。
一般機械器具製造業	不況でもなく、好況でもない状態。建機関係は忙しいようであるが、その他が伸び悩み状態である。明るさに欠ける状況に感じる。
一般機械器具製造業	本年11月の報告は前年同月と比較し、全般的にやや売上高等の増加という報告の一部を受けているが、全般的に不変という状況であった。その他としては人手不足により納期問題、増産対応が厳しいという報告も受けている。

各種商品卸売業	<p>終盤となってきた平成 30 年 3 月新卒予定者の採用状況について、例年複数名採用実績のある中堅規模企業の採用担当者から聞いてみた結果は次の通りであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 名は欲しいところだが何とか 1 名内定者を確保することができた。（不足分は既卒者採用でカバーしたい） ・ 社員の平均年齢は年々上昇しているため、企業の将来を考えると既卒者であってもできるだけ若年者を採用したい。 ・ 既に再来年春卒業予定者の採用活動がスタートしている企業も増えてきていることから、当社としても乗り遅れないよう今から準備したい。 ・ 企業イメージアップを図るためにも働き方改革を一層推進していきたい。
食肉小売業	仕入価格が高く、売上金額が同じで利益率が下がり厳しい状況である。
各種商品小売業	月初めの天候も悪くなかったので人出も多く、少し売りに上げに好感はあったが、やはり全体的には横ばいのように思われる。
各種商品小売業	例年 10 月に実施されていた「特別招待会」が本年より 11 月に移行した影響で、前年比約 110%の売上となった。しかしながら、10 月の落ち込み分を埋めるには至らず、年間を通じての厳しい状況はなかなか改善されない。正確な情報の段階ではないが、近隣の公設市場が再開という話を聞いた。市全体として、活況の一助となることに期待したい。
花・植木小売業	夏以降の曇天や長雨の影響、また 11 月に入ってから急激な冷え込みなどから入荷量は増えず、前年比 10%程度の単価高で推移した。特に業務需要を中心とした菊類、バラ、トルコキキョウ等の入荷が少なく、菊類は大幅な単価高となった。小売の動きも前月と同様に鈍く、仕入単価の上昇、販売不振と厳しい状況が続いている。
理容業	新店舗創業予定者が組合加入した。日本政策金融公庫での低金利借入が一番の目的と思われるが、組合員であることのメリットを理解して頂き、継続して組合残存して欲しいものである。支部と連携して組合のメリットを伝えていくことに努める。
自動車整備業	整備台数の減少もあるが、それに加え、台当たりの単価の減少も売上減少に大きく影響している。
ビルメンテナンス業	単月ではサーバ設備更新の投資を行ったため増収にもかかわらず収益は向上しなかった。求人難が続いており現場職員が疲弊している状況にある。
給食センター	売上高は前年同月比で増減はなかったが、米や野菜等の値上によりコストアップとなるが、新調理法で製造のシニア向け弁当の拡販等・コストダウンにより、収益は改善されていくと思われる。
旅館・ホテル	11 月の業況は、宿泊者数で昨年度を下回った施設の方が多かった。上回った施設でも昨年度が悪すぎたのが要因とのこと。一方でわずかだが、外国人を積極的に受け入れる施設が出てきた。なお、今シーズンはスキー場施設が早期にオープンできたので、入込・宿泊に期待したいところだ。
旅館・ホテル	宿泊の客室稼働率に関してはここ数年のトレンドのまま全体的に上昇している。レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門では多様化しており、ホテル利用が全てではなくなっている。11 月も会合は少ないが、宇都宮市は宿泊、イベント（技能五輪、アビリンピック、その他）のトップシーズンでもあり飲食店利用は比較的多かったように感じる。
内装工事業	栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数からみると、前年同月比カーテン用ラベルは 66%減、敷物用ラベルは 38%減、壁装用ラベルは 21%増であった。本年 4 月～11 月累計は、カーテン用ラベル 88%増、敷物用ラベル 42%増、壁装用ラベル 36%増であった。4 月～11 月累計支給金額は 43%増であった。9 月・10 月大型ビル等工事が薄かった。11 月に好転を期待したが工期の遅れにより内装工事が少なく 12 月に期待したい。

一般土木建築工事業	官庁の発注が少ない為に、売り上げが減少している。
一般貨物自動車運送業	適正運賃収受等を目的に平成 29 年 11 月 4 日付「標準貨物自動車利用運送約款」の改正が行われた。運送の対価としての「運賃」運送以外の役務対価としての「料金」を適正に収受できる環境が整備されたが、荷主との交渉において当約款通り適正運賃収受交渉が成約できるかが今後の景況に大きく影響する。
貨物軽自動車運送業	11 月度に入り貨物は全般的に堅調に推移した。特に食品関連貨物、自動車部品、鉄鋼、建築資材などが好調であった。相変わらずドライバー不足などにより配車不能を引き起こし大きな機会損失を招いた。
一般乗用旅客自動車運送業	対前年同月比では、各事業者が数%の増収になっている。イベント等（特に技能オリンピック）の影響か、特に朝の予約には対応しきれない状況であった。
大谷石採石業	全体として前年同月比で同様に推移したが、一部で大きな物件が完了し、次の二期も控えているとの話があった。貼石関係については、4 月の値上による影響は薄い。